

令和2年度 高齢者インフルエンザ予防接種のお知らせ

実施期間中に65歳の誕生日を迎えられる方は、
誕生日以降の接種となりますので、ご注意ください。

墨田区では、本年度も高齢者の方を対象とした予防接種を下記のとおり実施します。
接種を希望される方は、下記及び裏面をよくお読みの上、接種を受けてください。

1. 実施期間

令和2年10月1日から令和3年1月31日まで（期間外の接種はできません）

2. 対象者

令和2年12月31日現在、65歳以上の方

令和2年12月31日現在、60～64歳で、心臓、腎臓、呼吸器の機能又は、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害を有する方（身体障害者手帳1級相当）

予診票の「年齢」欄には、令和2年12月31日現在の年齢を記載しています。

接種日現在、墨田区に住民票がない方は、対象になりません。

3. 接種場所

同封の「実施医療機関名簿」に記載された医療機関で予防接種を受けてください。

また予約が必要な場合がありますので、事前に医療機関にご確認ください。

東京23区の指定医療機関でも受けることができます。墨田区外の22区での接種を希望する場合は、接種を希望する医療機関又は医療機関所在地の保健所へ事前に実施医療機関であることを確認してください。

（注）東京23区外で接種を希望する場合は、接種前に医療機関所在地の自治体に以下の点をご確認ください。

他自治体の高齢者インフルエンザ予防接種対象者の受け入れを行っているか。

受け入れを行っている場合、自治体宛に墨田区が発行する「予防接種依頼書」は必要かどうか。

（医療機関宛の予防接種依頼書は発行できません。）

費用の助成はあるか。

「予防接種依頼書」は費用の助成を行うためのものではなく、予防接種が原因の健康被害が起こった際に、予防接種法に基づく補償を受けるために必要な書類です。

必要な場合には墨田区保健予防課までお問い合わせください。

4. 接種費用

今年度は新型コロナウイルス感染症対策の一環として、

全対象者無料での接種になります。

5. 接種方法

接種日当日に「高齢者インフルエンザ予防接種予診票」の回答欄に記入し、署名の上、接種を受ける医療機関に持参してください。紛失された場合は、裏面の問合せ先へご連絡ください。

接種を受ける前に、必ず裏面の説明をお読みください。

接種後に医療機関により渡される「予診票〔本人控〕」は、接種した記録となります。再発行はできませんので、健康手帳に貼るなどして大切に保管してください。

必ず裏面もお読み下さい。

～ 高齢者インフルエンザ予防接種を受ける方へ～

必ず接種前にお読みください

1. インフルエンザとは

毎年、冬になると、**季節性インフルエンザ**が流行します。このインフルエンザにかかった人が咳やくしゃみをするとうイルスが空気中に広がり、それを吸い込むことでインフルエンザに感染します。インフルエンザは普通のかぜと違い、突然に高熱、筋肉や関節の痛み、頭痛や全身倦怠感などの症状が現れ、重くなると肺炎や脳炎などの合併症を引き起こします。高齢者や乳幼児、持病のある人などは合併症で亡くなることもあります。

2. インフルエンザの予防

インフルエンザ予防接種を受けることで、インフルエンザ予防効果が得られます。また、もしインフルエンザにかかったとしても重症化を防ぐことができますので、接種についての努力義務はありませんが、接種をお勧めします。

インフルエンザに対する予防効果は、接種後およそ2週間で現れ、その効果は5ヶ月間ほど続くとされています。日本では例年12月～3月にかけてインフルエンザが流行するので、12月中旬までに接種することが望ましいとされています（ただし、実施期間中に60歳及び65歳の誕生日を迎え接種対象になる方は、誕生日以降に接種が可能となりますのでご了承ください）。

なお、65歳以上の方は、1回の予防接種で効果があることが分かっています。

3. 接種に注意を要する方

以下の方は、あらかじめかかりつけ医に接種のご相談をなさってください。

基礎疾患（持病）がある。

以前に予防接種を受けた後、副反応がでたことがある。

けいれんをおこしたことがある。

免疫不全といわれたことがある。

インフルエンザの予防接種液でアレルギーを起こす可能性がある。（卵アレルギーなど）

他の予防接種を27日以内に受けている。

4. 接種後の注意

接種当日の入浴は差し支えありませんが、注射部位はこすらないようにしてください。

接種当日の激しい運動や大量の飲酒は控えてください。

接種後、高熱、けいれん等の症状があった場合は、速やかに医師の診察を受けてください。

予防接種後の予診票〔本人控〕は、健康手帳に貼るなどして、大切に保管してください。

インフルエンザ予防接種を受けると、6日間は他の予防接種は受けられません。

5. 予防接種の副反応について

予防接種後、注射の跡が赤くなったり、はれたり、痛んだりすることがあります。

また、発熱、寒気、頭痛、倦怠感等の症状がみられることもありますが、いずれも2～3日で治ります。もし、注射部位がひどくはれる、高熱が出る、じんましんが出る、呼吸が苦しくなるなど、普段と異なる症状がみられたら、早めに医師の診察をお受けください。

【問い合わせ先】

保健予防課感染症係 (電話) 03 - 5608 - 6191

(FAX) 03 - 5608 - 6507

向島保健センター (電話) 03 - 3611 - 6135

本所保健センター (電話) 03 - 3622 - 9137